

令和7年度の教育活動等に対する自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年2月19日実施

学校法人鈴木学園 しらゆり幼稚園 園長

山本 環 ・ 安武 裕子

学校法人鈴木学園 しらゆり幼稚園 学校関係者評価委員長

村上 知子

学校法人鈴木学園 しらゆり幼稚園 学校関係者評価委員

大石 香代 ・ 石川 友里子 ・ 坂田 尚之

教育理念	真に自由に個性を伸ばしながら正しい人間形成を目指すには、優れた教育者との出会いと適切な環境が必要である。
	幼稚園は、子ども達が初めて社会生活を体験する場であると同時に、生涯を通じた財産である様々な能力の礎を築く大切な時期である。
	しらゆり幼稚園は健康と情操教育を重視した教育に努め、仲間と協力しながら自然体験や社会経験を重ね、五感を使って感じ取り、考え、主体的に行動することを通して、個性と能力を伸ばす教育をおこなう。
教育方針	孝友三心 一、親を思う心 一、友を愛する心 一、自分をみつめる心
教育目標	一、体の丈夫な子 一、心の豊かな子 一、よく考える子
	自然に恵まれた教育環境のもと、『孝友三心』を建学の精神とするとともに、『健康は一生の宝』という言葉を念頭に置き、体の丈夫な子、心の豊かな子、よく考える子を育てることを園の目標として教育に努める。
本年度の重点目標	仲間や自分を大切に思い、互いを認め合い育ちあえる教育 元気にあいさつを交わし、みんなが笑顔な幼稚園 ◎やってみようとする気持ちを大切に、できたという喜びを感じられる保育 ◎元気に挨拶をし、人とのつながりを大切にする保育 ◎異年齢とのかかわりの中で憧れの気持ちや思いやりの心を育てる保育

学校法人鈴木学園 しらゆり幼稚園

評価基準	十分に理解(取り組み)できた・目標を達成している	A
	ほぼ理解(取り組み)できている・積極的に進められている	B
	理解(取り組み)できてはいるが、不十分な点(課題)がある	C
	理解できていない・取り組めていない・未実施	D

評価項目	評価内容	評価	幼稚園としての取り組み・改善策
教育理念 指導計画	園の教育理念・教育方針を理解し、意欲的に教育・保育活動に取り組めた	B	常に【ねらい】を意識し、園児も保育者も楽しめる活動ができている。子どもの実態や興味関心を捉え、全体が育ちあえるような環境を構成することに努めていく。『おうちえん』を通じて保護者にも【ねらい】の達成度を伝えられるように心掛けていく。
	教育・保育の目標を達成するために【ねらい】があり、【ねらい】をより具体的ににしたものが指導計画であり、保育の内容であることを理解している	B	
	乳児・幼児の興味や関心、実態、予想されるこれからの生活などを考慮して指導計画や週案を作成している	A	
保育について	安全で適切な保育を心掛け、心にゆとりをもって園児も自分も楽しめる保育が実践できている	B	「やってみよう・考えてみよう」の活動により、日々の保育と行事がつながり、子どもの主体性を大切にしたり関りができた。子どもの気づきや発想をさらに引き出せるような援助を工夫していく。週案の形式を改善したことにより、子どもの学びや気づきの記録が取りやすくなった。
	「やってみよう・考えてみよう」の活動では子どもと共に考えたり工夫するなど、子どもの気づきや学びを大切にするように努めている	B	
	自分の保育と計画の評価・反省をおこない、次の保育と計画に生かせるようにしている	B	
行事について	行事の内容は園児の発達にあったものであり、無理のない計画で行っている	B	昨年度の行事の反省・申し送りを事前に全教職員で再確認することで、より良い運営につながった。ねらいを意識することで、毎年の繰り返すだけでなく、今年の子どもの姿にあった行事を行うことができた。行事前に【ねらい】を意識した活動や保育者の願いを保護者に伝えたことにより、園と家庭が同じ意識で行事に臨むことができた。
	行事を通しての子どもの育ちを願い、ねらいを保護者と園児に丁寧に伝えて取り組んでいる	A	
	前年度の行事の反省を生かし、本年度の行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	
教職員同士 の協力・連携	職員一人ひとりが、役職にかかわらず協力や助言を行い、チームの一員として幼稚園運営にかかわっている	B	全体での打合せの時間は相変わらず確保することが難しかったが、日誌やアプリを活用し、様々な情報を共有するよう努めた。学年間の職務は分担することができたが、他学年の状況を把握できなかった。園全体の役割分担や連携方法をさらに明確にし、円滑な運営につながられるように努めていく。
	教育・保育・運営の課題について園全体や学年で話し合いを行っている	B	
	職務内容が明確で、協働できる体制になっている 職員の配置、係や仕事の分担・割り当ては適切である	B	
健康と安全への 配慮	複数名による登園確認を行い、欠席・遅刻連絡のない場合は保護者に確認をしている 園外・戸外活動の前には複数名で園児の人数チェックを行っている	A	登降園管理にQRコードを導入したことにより登降園確認は確実にできている。発達に配慮が必要な子が増えているので、活動前後の人数確認を確実に行事事故が起らないように細心の注意をしていく。また戸外あそびの際には職員配置に注意する。携帯無線機を活用した保育をしていく。
	子どもの体調を常に確認し、怪我や事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけをおこなっている	A	
	施設内外・設備の安全点検を定期的に行い、清掃・整理整頓など環境整備に努めている	A	

評価項目	評価内容	評価	幼稚園としての取り組み・改善策
保護者との連携	園児や保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くように努めている 保護者の気持ちに寄り添い、願いや意見に共感したり取り入れている	A	怪我や気になる様子を保護者に連絡するだけでなく、成長や些細なエピソードも伝えるよう意識できたが、さらに努力を重ねていく。 昨年度より年長児保護者の『保育士体験』の参加者が増え、普段の様子を見てもらうことができた。今後も『保育士体験』は続けていく。
	保育中の怪我や体調、人間関係など、些細なことも保護者に連絡している	A	
	保護者保育体験、バス添乗、行事お手伝いなどの保護者参加の内容・回数は適切である	A	
情報の提供	保育参観・個人面談・おたより・おうちえん等を通して、幼稚園の様子や健康・安全に必要な生活習慣などについて積極的に発信している	A	『おうちえん』の配信により、保護者より安心できるとの声が多く聞かれた。クラスによる頻度の偏りや内容がマンネリ化しないように努める。 InstagramやLINEへの投稿は事務連絡が主になっているため、園の楽しい様子を伝えられるように工夫していく。 園児向けの掲示物は子どもの興味関心を捉え、知識となる内容が工夫されている。
	ホームページ・フェイスブック・インスタグラムなどを通して、幼稚園の情報を一般に広く発信・公開できている	A	
	掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用できている	B	
守秘義務の遵守	職務上に知り得たプライバシーに関する情報等の秘密を守っている 園の重要書類や個人情報を記載した書類を園外に持ち出していない	A	書類・情報等の管理や守秘義務はしっかりと守れている。 重要なことは一人で解決せず、上司に報告・連絡・相談し、園全体で共有できている。しかし途中報告で終わってしまう事案もあったため、最終結果を共有するように努める。
報告・連絡・相談	幼児・保護者のこと、クラスの出来事、クレームや要望などで必要なことは園長や主任に報告・連絡・相談し、結果を全教職員で共有することで常にチーム保育を意識している	A	
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、個別の配慮や発達支援の方法を学ぶように努めている	B	気になる子の様子を共有し、園全体で支援するように努めている。公認心理師の助言や外部研修の受講により、子どもの理解を深めることができた。 公認心理師と連携し、支援が必要な子どもの保護者に子育て相談や市町の発達相談等へのアプローチをすることができた。 「子育て支援ハウスつぼみ」の運営を開始した。
	公認心理師と連携し、適切な手立てに努め、個々の記録作成を行っている	A	
子育て支援	子育て支援事業、入園説明会、園児募集活動などに積極的にかかわることができた	B	
地域とのかかわり	地域の人、地域の小学校や保育園幼稚園との交流を積極的に図るよう努めた	B	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識して保育活動に取り組むようになってきている。サッカー大会やほいくまつりを通じて他園との交流ができるようになっていく。園外散歩や社会科見学で地域との交流が深まるように努めていく。
	地域の危険箇所(ハザードマップなど)について理解するよう努めた	B	
小学校との連携	小学校教育への架け橋として、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を意識することができた	B	地域の危険箇所の理解を深めるため、次年度は園内研修で取り組む。
資質の向上	園内研修や外部の研修会には自己課題をもって進んで参加している	B	外部研修には自分の保育、園の現状を照らし合わせながら参加するようにしている。研修の内容を日々の保育や業務に取り入れ、質の向上につながっていると感じる。
	研修や研究を通し、自己研鑽に努め、保育内容の向上に努めている	B	
人権擁護	子どもの人権擁護を理解し、子どもを尊重する保育に努めている。虐待が疑われる様子が見られた際は園長に報告し、必要な場合は公的機関へ報告している	A	複数の保育者が一緒に保育することで、適切でない保育になる前に声掛けしたり、担当を代わったりすることができている。 適切でない言葉がけをしてしまった際は、自身の間違いを認め、誰に対しても謝罪することを心掛けている。
	間違った言動をしてしまった時は、誤りを認め適切な行動をとっている 子どもに対しても謙虚な姿勢で謝罪している	A	
	同僚の言動が適切ではない感じた時は見て見ぬふりをせず、教職員同士で声を掛け合ったり注意し合い、上司に相談することができている	B	

評価項目	評価内容	評価	幼稚園としての取り組み・改善策
本年度の重点目標	仲間や自分を大切に思い、互いを認め合い育ち合える教育	A	元気な挨拶と返事に取り組んでいるが、達成が難しい子も見られる。挨拶は強要するものではないので自発的な挨拶を促せるような方法を考えていく。 「やってみよう、考えてみよう！」の取り組みにより、子どもだけでなく保育者も周囲を見て考えを出し合い、相手の意見を尊重する姿勢が育っていると感じる。 「なかよしtime」により優しく接する心や憧れの気持ちが育っているの で、戸外あそびや自由あそびの際も異年齢にと関われる環境を構成していきたい。
	元気にあいさつを交わし、みんなが笑顔な幼稚園	A	
	やってみようとする気持ちを大切に、できたという喜びを感じられる保育	A	
	元気に挨拶をし、人とのつながりを大切に作る保育	A	
	異年齢とのかかわりの中で憧れの気持ちや思いやりの心を育てる保育	B	
幼稚園としての総合評価および今後の課題	<p>「やってみよう、考えてみよう！」の内容を季節や行事に関連させたことにより、日々の保育や行事がぶつ切りの活動になることがなくなった。「教える」教育から、「気づき・試し・協同する」保育に進化している。これからも子どもが考え・工夫し挑戦できる環境構成に努めていく。</p> <p>昨年度より公認心理師を採用したことにより、特別な配慮や支援が必要な子どもの理解が進み、園全体で支援する体制になっている。令和8年度からは自治体による【5歳児健診】も本格的に始まるので、園・家庭・地域で支援が必要な子どもに丁寧に対応していく。</p> <p>時代により保護者のニーズが変わり、特別な配慮や支援が必要な子どもも増えてきている。伝統ある幼稚園行事を大切にしつつ、時代のニーズ、子どもたちの現状に合わせて行事を見直していく。</p> <p>公認心理師の雇用、経験の長い保育者をフリー担任として配置することにより、経験の少ない保育者も安心して保育ができる環境ができていく。今後も『見える保育』を意識し、保護者との信頼関係を築き、園児・保護者・保育者が笑顔で通える園を目指していく。</p> <p>令和8年度より【誰でも通園制度】の本格的な実施が始まる。『子育て支援ハウスつぼみ』や『プチいるか』を活用し、地域の未就園児親子が安心して利用できる園を構築していく。</p>		
学校関係者評価委員からの意見	<p>園児がのびのびと生活できる空間やたくさんの経験ができる遊具・用具が充実している。園舎内外の清掃もきちんとされていると感じる。</p> <p>保護者が保育士体験やバス添乗に参加することで、普段の様子や保育内容を共有することができ、安心して子どもを預けられる。「おうちえん」の配信により家庭での会話が增え、先生の保育に対する思いも伝わっている。クラスにより更新頻度に差があるので、更新頻度を統一するなど検討してほしい。主任から行事前に送られるメッセージにより子どもたちの行事に対する取り組みや成長が良くなり大変嬉しい。Instagramのストーリーに給食がアップされているのが良い。園で育てた野菜を給食に取り入れるなど臨機応変な対応ができており、食育としても安心できる。美味しい給食に感謝している。</p> <p>「やってみよう、考えてみよう！」の取り組みにより探求心が育っている。身辺自立をうながす「ビックビックハート」や「びっくりんシール」等により、子どもたちが楽しみながら積極的に取り組んでいる。「せかいタッチパーティ」や給食の「他国メニュー」により世界に目を向けるようになった。「こころのじかん」や「なかよしtime」を通して他者をおもいやる心も育っている。</p> <p>避難訓練では本当の災害かと思われるほど先生方が真剣に行動していた。施錠やセーフティマットなど様々な安全対策が考えられている。一人ひとりの先生がレベルアップを目指していると感じられる。</p> <p>行事が多くたくさんの経験と学びができるのは良いが、一方で行事のための練習時間が多く自由にあそべる時間が少なく感じる。講師の中に幼稚園の方針とは違う言葉掛けや指導方法の方が見受けられる。講師などにも幼稚園の方針をきちんと伝え同じ思いで指導して貰いたい。年少の「ナッキー先生とあそぼう」で体を動かす楽しさを感じることができ、年中からの体育指導にスムーズにつながる事ができた。</p> <p>公認心理師や保育補助教員が充実しているので、幅広く子どもたちを見守る体制が整っている。特定の子による加害行動に対しての園の対応が見えにくい。プライバシーの問題があると思うが、どの様な対応をしているのかを公表してほしい。</p>		